

# 特定非営利活動法人 海洋音響学会

## 2024 年度総会資料

### 通常総会・表彰式

月 日 2024 年 6 月 13 日 (木)

場 所 東京大学生産技術研究所及びオンライン会議による

◇第 21 回通常総会 (通算第 52 回) (13 : 00 ~ 13 : 30)

#### 次第

1. 開会
2. 議長の選任
3. 審議事項  
第 1 号議案 2023 年度事業報告及び決算について (資料 1~3, 別紙 1)  
第 2 号議案 2024 年度事業計画及び予算について (資料 4~5)
4. 議事録署名人の選任
5. 会長挨拶
6. 閉会

◇第 48 回表彰式 (13 : 30 ~ 13 : 50)

- ・ 論文賞贈呈 (別紙 2)
- ・ 業績賞贈呈 (別紙 2)
- ・ JAMSTEC 中西賞報告 (別紙 3)

## 2023 年度事業報告（案）

## 1 全般状況

## (1) 会員の状況

区 分	2022 年度末	2023 年度末	備 考
名 誉 会 員	14 名	15 名	定期購読者： 4 機関（2023 年度）
終 身 会 員	9 名	7 名	
通 常 会 員	260 名	268 名	
賛 助 会 員	23 社 37 口	25 社 39 口	

## (2) 第 20 回通常総会

2023 年 5 月 25 日（木）13:00～13:30

神奈川大学をホストとしたオンライン会議および対面のハイブリッド開催において、会員数 287 名の内、出席者 149 名（内、オンライン会議出席 19 名、書面若しくは電磁的方法による表決者 38 名、表決委任者 58 名）にて開催した。

## 審議事項

議長の選任

第 1 号議案 2022 年度事業報告及び決算について

第 2 号議案 2023 年度事業計画及び予算について

第 3 号議案 2023, 2024 年度役員の選任について

第 4 号議案 名誉会員の推薦について

## 議事の概要及び議決の結果

議長の選任

司会より、川崎良道氏の議長選任を諮り、全員異議なくこれを承認した。

第 1 号議案 2022 年度事業報告及び決算について

議長より、2022 年度事業報告書(案)、会計理事及び監事より 2022 年度活動計算書、2021 年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表、2022 年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録及び 2022 年度計算書類の注記を配布し、報告したところ、全員異議なくこれを承認した。

第 2 号議案 2023 年度事業計画及び予算について

議長より、2023 年度事業計画書(案)、会計理事より 2023 年度活動予算書（案）を配布し、詳細に審議したところ、全員異議なくこれを承認した。

第 3 号議案 2023, 2024 年度役員の選任について

議長より理事の任期満了に伴い定款第 14 条に基づき、2023, 2024 年度理事の選任について諮ったところ、全員異議なく次の者が理事として選出され、被選任者はいずれもその就任を承諾した。

理事 赤松 友成（重任）	理事 甘糟 和男（重任）
理事 伊藤 雅紀（新任）	理事 江川 護（重任）
理事 海老原 格（重任）	理事 小笠原 英子（重任）
理事 川崎 良道（重任）	理事 澤田 浩一（重任）
理事 島田 久仁彦（新任）	理事 志村 拓也（重任）
理事 土屋 健伸（重任）	理事 南利 光彦（重任）
理事 松本 さゆり（重任）	理事 向井 徹（重任）
理事 村石 幸太郎（新任）	理事 森 和義（重任）
理事 横田 裕輔（重任）	理事 吉江 宗生（重任）
理事 吉澤 真吾（新任）	理事 渡辺 好章（重任）

同じく議長より定款第14条に基づき2023,2024年度監事の選任について諮ったところ、全員異議なく次の者が監事として選出され、被選任者はいずれもその就任を承諾した。

監事 遠藤 信行 (重任)                      監事 蜂屋 弘之 (新任)

また、次期理事候補者による投票結果が報告され、2023,2024年度会長候補に川崎良道氏、副会長候補に澤田浩一氏及び渡辺好章氏としたことについての報告が確認された。

#### 第4号議案 名誉会員の推薦について

議長より定款第6条に基づき海洋音響に関する学問及び技術に関して功績顕著で海洋音響学会の目的達成に多くの貢献のあった蜂屋弘之氏を名誉会員としたい旨を諮り、審議の結果、全員異議なくこれを承認した。

なお、提出書類の軽微な事項の修正については、総務理事に一任する。

### (3) 第47回表彰式

総会に引続き、神奈川大学をホストとしたオンライン会議および対面のハイブリッド開催にて開催した。

#### 功績賞贈呈

以下の者に功績賞を贈呈した。

受賞者 (所属 (当時)) 片倉 景義 (桐蔭学園横浜大学客員研究員)

#### ・功績の概要

片倉景義氏は、長年に亘って水中音源、超音波映像法、音響信号処理、水中映像取得技術等の幅広い研究領域において多数の研究成果を挙げられました。また本学会運営においては、副会長、表彰委員会委員長、理事等の要職を歴任され、本学会の発展に多大のご尽力を頂きました。さらに、本学会の名誉会員に就任後も、学会活動・研究活動にも積極的に参加され、後進の指導・育成にも熱心に取り組まれておられます。

このような片倉氏の学術ならびに本学会に対する多年の活動業績は、我が国の海洋音響技術の発展に顕著な功績が認められることから、本学会の功績賞受賞者としての要件を十分に満たしていると考えます。

#### 論文賞贈呈

以下の者に論文賞を贈呈した。

題目 Target Strength of Juvenile Salmon, *Oncorhynchus keta*, for Acoustic Monitoring

受賞者 (所属) Kouichi SAWADA (水産機構)  
Tomohiko MATSUURA (水産機構)  
Yoshiaki FUKUDA (北海道大学)

掲載誌 海洋音響学会誌, Vol. 49, No. 2, pp. 46-67, 2022年4月

#### 業績賞贈呈

以下の者に業績賞を贈呈した。

題目 GPSの使えない水中で高精度に位置を計測する超音波測位システムの開発  
(推薦にかかわる仕事をした期間: 2018年~2022年)

企業名 あおみ建設株式会社

受賞者 (所属 (当時)) 吉原 到 (あおみ建設)  
海老原 格 (筑波大学)  
水谷 孝一 (筑波大学)

#### JAMSTEC中西賞

以下の者にJAMSTEC中西賞が贈呈されたことを報告した。

題目 FDTDシミュレーションを用いたエコー復元によるコウモリの周回飛行中の注意推定

受賞者（所属（当時）） 長谷川 雄大 （同志社大学）

手嶋 優風 （同志社大学）

森山 涼太 （同志社大学）

源田 祥子 （同志社大学）

河村 拓 （同志社大学）

土屋 隆生 （同志社大学）

飛龍 志津子 （同志社大学）

掲載誌 海洋音響学会 2022 年度研究発表会講演論文集, pp. 27-28, May 2022

#### (4) 理事会

年度中 6 回開催し、会の活動と経理の状況を把握しつつ随時所要の対策を講ずるほか、総会の決定に従い本会運営の基本に関する事項を審議決定し、各委員会との連絡を密にして事業の円滑化を図った。

#### (5) 執行理事会

理事会を補佐し、本学会の全体運営に関わる業務について効率的かつ十分な審議と迅速な執行を目的とし、年度中 7 回開催し、規程類の変更・制定、総務、会計に関する審議を行った。

## 2 事業の概況

事業内容は資料2「事業報告書」による。なお、詳細は別紙1による。

## 2023 年度 事業報告書 (案)

特定非営利活動法人 海洋音響学会

## 1 事業の成果

2023 年度は、特定非営利活動法人として次の事業を行った。

- 第 1. 海洋音響に関する学術調査研究事業として、「海中騒音の評価手法研究部会」の報告会 (シンポジウム) の準備を行った。
- 第 2. 海洋音響に関する普及啓蒙事業として、会誌の発行、研究発表会、談話会、技術講習会を開催したほかホームページを活用し情報の提供を行った。
- 第 3. 海洋音響に関する奨励事業として、前年度の優秀論文賞の表彰をしたほか、本年度の功績賞、優秀論文賞、業績賞の表彰候補選考、及び JAMSTEC 中西賞の表彰推薦候補選考を行った。
- 第 4. 海洋音響に関する企画交流促進事業として、企画運営委員会の開催、日本海洋工学会等との交流を行った。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 6,107 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
学術調査研究事業	「研究部会」を開催した。 ・シンポジウム 4 月 5 日 ・ガイドライン改定を準備した	7 月, 10 月 1 月, 3 月	ハイブリッド開催 (東京都新宿区、オンライン会議)	25 人	海洋音響に関心のある者	約 30 人	0
普及啓蒙事業	会誌 190, 191, 192, 193 号を発行した。また、学会誌の電子化を実施した。	4 月 1 日 7 月 1 日 10 月 1 日 1 月 1 日	法人事務所	20 人	海洋音響に関心のある者	約 450 人	1,624
普及啓蒙事業	研究発表会を開催した。	5 月 25 日 5 月 26 日	ハイブリッド開催 (神奈川県横浜市、オンライン会議)	20 人	海洋音響に関心のある者	約 250 人	1,219
普及啓蒙事業	Dezhang Chu 博士を迎え、講演会を 1 回開催した。	11 月 20 日	ハイブリッド開催 (東京都港区、オンライン会議)	10 人	海洋音響に関心のある者	約 50 人	401
普及啓蒙事業	シンポジウムを 1 回、談話会を 1 回開催した。	4 月 5 日 8 月 21 日	東京都目黒区	10 人	海洋音響に関心のある者	延べ約 200 人	926
普及啓蒙事業	「海洋音響の基礎」をテーマに技術講習会を開催した。	12 月 11 日 12 月 12 日	オンライン会議	10 人	海洋音響に関心のある者	約 50 人	459

普及啓蒙事業	ホームページを運用し、活動内容を紹介し、海洋音響に関する情報を提供する。	随時	法人事務所	8人	一般市民	不特定多数	361
奨励事業	海洋音響に関する優れた研究開発成果を表彰した。 次年度に海洋音響に関する研究開発の奨励、優れた研究開発成果を表彰するための委員会を開催した。	5月25日 (表彰) 11月29日 2月19日 *3月29日 (委員会)	オンライン会議 および ハイブリッド開催 (法人事務所、オンライン会議)  *印はメール稟議	12人	海洋音響の研究者	約10人	307
企画交流促進事業	企画運営委員会を2回開催すると共に、日本海洋工学会等関連団体との交流、行事の共催を行った。	9月20日 1月25日	オンライン会議	25人	海洋音響に関心のある者	不特定多数	10
企画交流促進事業	学会の50周年における記念事業として特集号の発刊、学会誌アーカイブデータのホームページ掲載、ホームページ英文化の検討を行う。	随時	ハイブリッド開催 (東京都新宿区、オンライン会議)	10人	海洋音響に関心のある者	不特定多数	800

書式第13号（法第28条関係）

2023年度 活動計算書		特定非営利活動法人 海洋音響学会 (単位：円)	
科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
通常会員受取会費	1,548,000		
賛助会員受取会費	7,020,000	8,568,000	
2 事業収益			
(1)学術調査研究事業収益	0		
(2)普及啓蒙事業収益	1,110,880		
(3)奨励事業収益	0		
(4)企画交流促進事業収益	0	1,110,880	
3 受取補助金	0		0
4 受取寄附金	1,000		1,000
5 その他収益			
雑収益	48,697		48,697
経常収益計			9,728,577
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
臨時雇賃金	33,000		
人件費計	33,000		
(2)その他経費			
事務委託費	1,359,180		
消耗品費	490,080		
通信運搬費	11,631		
旅費交通費	187,754		
印刷製本費	2,698,542		
会議費	795,726		
謝金	513,400		
雑費	18,017		
その他経費計	6,074,330		
事業費計		6,107,330	
2 管理費			
(1)人件費			
給料手当	0		
人件費計	0		
(2)その他経費			
事務委託費	2,582,356		
消耗品費	57,001		
通信運搬費	141,102		
旅費交通費	70,500		
印刷製本費	16,538		
会議費	298,308		
雑費	11,905		
その他経費計	3,177,710		
管理費計		3,177,710	
経常費用計			9,285,040
当期経常増減額			443,537
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			443,537
法人税、住民税及び事業税			0
前期繰越正味財産額			23,147,417
次期繰越正味財産額			23,590,954

## 2023年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2024年3月31日現在

特定非営利活動法人 海洋音響学会

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	18,753,232	
流動資産合計		18,753,232
2 固定資産		
基本財産	6,537,794	
固定資産合計		6,537,794
資産合計		25,291,026
II 負債の部		
1 流動負債		
未払費用	1,666,072	
前受金	4,000	
前受会費	30,000	
流動負債合計		1,700,072
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		1,700,072
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		23,147,417
当期正味財産増加額		443,537
正味財産合計		23,590,954
(うち基本財産)		(6,537,794)
負債及び正味財産合計		25,291,026

## 2023年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2024年3月31日現在

特定非営利活動法人 海洋音響学会  
(単位：円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
学会手許金	0	
普通預金（みずほ銀行高田馬場支店）	15,965,706	
普通預金（みずほ銀行高田馬場支店・事務局）	971,188	
郵便振替（ゆうちょ銀行高田馬場支店）	1,816,338	
流動資産合計		18,753,232
2 固定資産		
基本財産		
定期預金（三菱UFJ信託銀行本店営業部）	6,537,794	
固定資産合計		6,537,794
資産合計		25,291,026
II 負債の部		
1 流動負債		
未払費用	1,666,072	
前受金	4,000	
前受会費（次年度会費）	30,000	
流動負債合計		1,700,072
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		1,700,072
III 正味財産の部		
繰越正味財産 （うち基本財産）		23,590,954 (6,537,794)

重要な点において適正に表示しているものと認める。

2024年 4月 19日

監事 遠藤 信行 印

監事 蜂屋 弘之 印

2023年度正味財産23,590,954円は全額次年度に繰越すこととする。

## 2023年度 計算書類の注記

## 1. 重要な会計方針

## (1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

## 2. 事業別損益の状況

科 目	学術調査研究事業	普及啓蒙事業	奨励事業	企画交流促進事業	事業部門計	管理部門	合 計
I 経常収益							
1. 受取会費	0	0	0	0	0	8,568,000	8,568,000
2. 事業収益	0	1,110,880	0	0	1,110,880	0	1,110,880
3. 受取補助金	0	0	0	0	0	0	0
4. 受取寄附金	0	0	0	0	0	1,000	1,000
5. その他収益	0	0	0	0	0	48,697	48,697
経常収益計	0	1,110,880	0	0	1,110,880	8,617,697	9,728,577
II 経常費用							
(1) 人件費							
臨時雇賃金	0	33,000	0	0	33,000	0	33,000
人件費計	0	33,000	0	0	33,000	0	33,000
(2) その他経費							
事務委託費	0	1,359,180	0	0	1,359,180	2,582,356	3,941,536
消耗品費	0	305,280	184,800	0	490,080	57,001	547,081
通信運搬費	0	11,631	0	0	11,631	141,102	152,733
旅費交通費	0	138,254	49,500	0	187,754	70,500	258,254
印刷製本費	0	1,998,542	0	700,000	2,698,542	16,538	2,715,080
会議費	0	773,232	22,494	0	795,726	298,308	1,094,034
謝金	0	363,400	50,000	100,000	513,400	0	513,400
雑費	0	7,522	165	10,330	18,017	11,905	29,922
その他経費計	0	4,957,041	306,959	810,330	6,074,330	3,177,710	9,252,040
経常費用計	0	4,990,041	306,959	810,330	6,107,330	3,177,710	9,285,040
当期経常増減額	0	△ 3,879,161	△ 306,959	△ 810,330	△ 4,996,450	5,439,987	443,537

## 3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	6,537,682	112	0	6,537,794
合 計	6,537,682	112	0	6,537,794

## 2024年度 事業計画書（案）

特定非営利活動法人 海洋音響学会

## 1 事業実施の方針

2024年度は、長期的展望に立って、海洋音響及びこれに関連のある諸科学の一層の振興を図るために、次の方針にしたがって活動する。

- 第1. 海洋音響に関する学術調査研究事業を行う。
- 第2. 海洋音響に関する普及啓蒙事業を行う。
- 第3. 海洋音響に関する研究開発の奨励事業を行う。
- 第4. 海洋音響に関する企画交流促進事業を行う。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【7,470】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
学術調査研究事業	「研究部会」を開催する。	7月, 10月 1月, 3月	東京都 新宿区 オンライン会議	25人	海洋音響に関心のある者	約30人	100
普及啓蒙事業	会誌を定期発行する。	4月, 7月 10月, 1月	法人 事務所	20人	海洋音響に関心のある者	約450人	2,100
普及啓蒙事業	研究発表会を開催する。	6月	東京都 目黒区 オンライン会議	20人	海洋音響に関心のある者	約250人	1,500
普及啓蒙事業	国際化を目指し外国人講師を招き講演会を開催する。	10月	東京都 新宿区 オンライン会議	10人	海洋音響に関心のある者	約50人	300
普及啓蒙事業	シンポジウムを年2回程度, 談話会を年2回程度開催する。	5月, 8月 12月, 2月	東京都 新宿区 オンライン会議	10人	海洋音響に関心のある者	延べ約200人	450
普及啓蒙事業	技術講習会を開催する。	12月	東京都 新宿区 オンライン会議	10人	海洋音響に関心のある者	約50人	500

普及啓蒙事業	ホームページを運用し、活動内容を紹介し、海洋音響に関する情報を提供する。	随時	法人事務所	8人	一般市民	不特定多数	600
奨励事業	海洋音響に関する優れた研究並びに開発成果を表彰する。海洋音響に関する研究の奨励、優れた研究開発成果を表彰するための委員会を開催する。	表彰:6月 委員会: 随時	東京都目黒区オンライン会議	12人	海洋音響の研究者	若干名	600
企画交流促進事業	事業の企画会議の開催並びに、国際化に関する検討、日本海洋工学会等関連団体との交流、行事の共催・後援を行う。	随時	東京都新宿区オンライン会議	25人	海洋音響に関心のある者	不特定多数	320
企画交流促進事業	学会誌アーカイブデータのホームページ掲載、ホームページ英文化の検討を行う。	随時	東京都新宿区オンライン会議	10人	海洋音響に関心のある者	不特定多数	1,000

書式第9号（法第10条・第25条関係）

2024年度 活動予算書（案）			
2024年4月1日から2025年3月31日まで			
特定非営利活動法人 海洋音響学会			
（単位：円）			
科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
通常会員受取会費	1,580,000		
賛助会員受取会費	7,020,000	8,580,000	
2 事業収益			
(1) 学術調査研究事業収益	0		
(2) 普及啓蒙事業収益	615,000		
(3) 奨励事業収益	0		
(4) 企画交流促進事業収益	0	615,000	
3 受取補助金			0
4 受取寄附金			0
5 その他収益			
雑収益	90,000	90,000	
経常収益計			9,285,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
臨時雇賃金	20,000		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	20,000		
(2) その他経費			
事務委託費	3,160,000		
消耗品費	330,000		
通信運搬費	100,000		
旅費交通費	430,000		
印刷製本費	1,530,000		
会議費	1,380,000		
謝金	510,000		
雑費	10,000		
その他経費計	7,450,000		
事業費計		7,470,000	
2 管理費			
(1) 人件費			
臨時雇賃金	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
事務委託費	2,600,000		
消耗品費	120,000		
通信運搬費	200,000		
旅費交通費	300,000		
印刷製本費	60,000		
会議費	400,000		
雑費	15,000		
その他経費計	3,695,000		
管理費計		3,695,000	
経常費用計			11,165,000
当期経常増減額			△ 1,880,000
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 1,880,000
法人税、住民税及び事業税			0
前期繰越正味財産額			23,590,954
次期繰越正味財産額			21,710,954

## 2023 年度事業内容

## ○ 研究発表会

(5/25, 26 神奈川県横浜キャンパス及びオンライン開催)

特別講演 港湾工事における水中建設機械と水中作業状況の認識について  
平林 丈嗣 (港空研)

優秀論文発表賞の贈呈:

- ・ 題 目 コウモリのドプラーシフト補償行動における戦略的意義の検討  
発表者 吉田創志 (同志社大)
- ・ 題 目 音響キャビテーションノイズを用いる層構造体の広帯域音圧反射率計測  
発表者 黒山喬允 (防衛大)

## ○ 談話会

第 1 回 (8/21 東京工業大学大岡山キャンパス 蔵前会館ロイヤルブルーホール)

(電子情報通信学会超音波研究会, 日本音響学会超音波研究委員会, IEEE UFFC Society Japan Chapter と共催)

議題: 水中音響, 超音波一般

「空中超音波音場の圧縮センシングによる再構成」

濱田郁哉, 清水鏡介, 大隅 歩, 伊藤洋一 (日大)

「医用超音波画像における U-Net と Yolo を用いた深層学習～自動鑑別に向けた腫瘍の実施例～」

炭 親良, 玉谷彩季 (上智大/上智大学院),

平野友郁, Junliang Xiao, Kaichen Hua (上智大)

「波のある海面で反射する音波の振幅・位相変動」

蜂屋弘之 (東工大)

「サブバンド位相情報に基づく高分解能超音波イメージング」

鄭 傑, 田川憲男 (都立大)

「分散電極と単一送受信回路による超音波 3D イメージング」

中澤永光, サリヤヂ ムハンマド, 田川憲男 (都立大)

「水晶 Q を測定するための位相雑音測定法」

青木佑太, 原 健悟, 渡部泰明 (都立大)

## ○ 技術講習会

第 33 回技術講習会

(12/11, 12 オンライン開催)

主題: 海洋音響の基礎

「音響の基礎」「ソーナー入門」

蜂屋 弘之 (東工大)

「音源からの反射」「反射散乱と残響」「送受波器」

鎌田 弘志 (元会長)

## ○ 部 会

海中騒音の評価手法研究部会

シンポジウム (4/5 開催)

○ 日本海洋工学会

総会 2回 (通期第31回 6/29, 第32回 2024/3/28)  
理事会 2回 (通期第47回 6/29, 第48回 2024/3/28)  
運営委員会 4回 (第198回 6/29, 第199回 9/7,  
第200回 12/21, 第201回 2024/3/28)

※全てオンライン会議

第30回海洋工学シンポジウム「どうする海洋」(2023/9/7, 9/8開催)

○ 委員会

企画運営委員会

2回 (9/20, 1/25)

全てオンライン会議

表彰委員会

3回 (11/29, ※2/19, ○3/29)

※印は対面+オンライン会議、○印はメール稟議, 無印はオンライン会議

編集委員会

8回 (4/24, 6/30, ※7/21, 9/22, 10/26, ○12/14, 1/24, 3/18)

※印は対面+オンライン会議、○印は対面会議、その他は全てオンライン会議

ホームページ委員会

メール等で数回審議

研究発表会実行委員会

4回 (5/22, 5/24, 11/22, 12/1)

## 2023 年度表彰一覧表

## ○論文賞①

- ・ 題目 Volume backscattering spectra measurements of Antarctic krill using a broadband echosounder
- ・ 受賞者 (所属 (当時))
 

Natsuki Yamamoto	(東京海洋大学)
Kazuo Amakasu	(東京海洋大学)
Koki Abe	(水産資源研究所)
Ryuichi Matsukura	(水産資源研究所)
Tomohito Imaizumi	(水産技術研究所)
Tomohiko Matsuura	(水産技術研究所)
Hiroto Murase	(東京海洋大学)
- ・ 掲載誌 Fisheries Science, Vol. 89, pp. 301-315 (2023)

## ○論文賞②

- ・ 題目 Statistical analysis of measured underwater radiated noise from merchant ships using ship operational and design parameters
- ・ 受賞者 (所属 (当時))
 

Masahiro Sakai	(大阪大学)
Reo Haga	(大阪大学)
Toshio Tsuchiya	(東京海洋大学)
Tomonari Akamatsu	(海洋政策研究所)
Naoya Umeda	(大阪大学)
- ・ 掲載誌 J. Acoust. Soc. Am. Vol. 154, 1095-1105 (2023)

## ○業績賞

- ・ 題目 複数 AUV 管制用音響通信測位統合装置の開発  
(推薦にかかわる仕事をした期間: 2018 年~2022 年)
- ・ 企業名 株式会社日立製作所
- ・ 担当者 (所属 (当時))
 

近藤 哲之	(株式会社日立製作所)
目黒 浩二	(株式会社日立製作所)
永田 光	(株式会社日立製作所)
大澤 史郁	(株式会社日立製作所)
渡邊 佳孝	(海洋研究開発機構)

